

# リード芦屋新聞

発行元

リードあしや

## 話し合いを可視化

### グラフィックレコーディング 議論深まり新たな発見

リードあしやで、10月31日に開催された「未来をつくる芦屋たぶん100人会議」では、グラフィックレコーディングの講習もあった。ビジュアルファシリテーターのアオナミユミコさんが講師として、絵と文字で会議内容をまとめ、話し合いを進めるノウハウを披露した。参加者も実際にペンと紙で簡単なグラフィックレコーディングを体験した。



グラフィックレコーディングとは、物事をうまく進めるスキルのひとつである。プレゼンの内容や会議の内容、絵でリアルタイムに記録する。会話と絵の相互作用により理解が深まり、共通認識ができるようになる。可視化する内容は人に

よって違うため、共有し際に新しい発見もできる。「絵」といっても、難しく考えなくていいという。丸、三角、四角などの簡単な図形や矢印、図を組み合わせ、目で見てわかるものを書くことができる。ストーリーが見えれば、より分かりやすくなるだろう。とはいえ、いきなり皆の前で描くのはハードルが高

いだろう。まずは自分のためのメモである「スケッチノート」の練習をしておく

と、グラフィックレコーディングもできるようになる。口頭では忘れてしまうようなこともぎっつと見ればわかる。視覚にいか訴えるかがポイントだ。（野妻 綾）

## 図形組み合わせせて表現



グラフィックレコーディングを記者が体験した。

絵を描くことが苦手な私は、体験する前、とても難しいものと考えていた。しかし講師のアオナミユミコさんは「簡単に描ける」と最初に話した。

絵を描く体験をする前に、グラフィックレコーディングやファシリテーションの意味や概要についての話があった。横文字が並ぶことが多かったが、アオナミさんの解説は分かりやすく、私もすぐ理解できた。アオナミさんが強調していたのは、○や△、□など誰でも簡単に描ける図形を組み合わせ、人やものを

## 話題の議事録法

### アオナミユミコさんに聞く

ビジュアルファシリテーターとして活躍するアオナミユミコさんにインタビューした。ビジュアルファシリテーターとは、グラフィックレコーディング（グラフィックレコ）によって、会議をリアルタイムで記録する職業

である。アオナミさんがグラフィックレコを始めたのは、まだ日本にグラフィックレコがそれほど普及していなかった2015年。たまたまグラフィックレコを見たのがきっかけだったという。

グラフィックレコに期待していることを聞くと、「グラフィックレコは外部の人が行うより、組織の内部の人が行う方が分

かりやすい。私が技術を広め、もっとたくさんの方に利用してもらいたい」と説明した。また「グラフィックレコ



仲間には学生時代、絵を描いてノートをもとめていた人が多い」と話した。高校生に向けてメッセージを尋ねると、「勉強にはさまざまなパターンがあって、人それぞれにあった勉強方法がある。何が向いているかわからない人は色々なことに触れ、チャレンジし、何が向いているかを知ってほしい」と語った。（平井真緒）

誰でも簡単に描ける図形を組み合わせ、人やものを表現した。亀や乙姫さま、竜宮城、玉手箱なども描き、それらを矢印でつなぐことで、話の流れを表現していった。（竹中己太郎）

（平井真緒）